

ゆあさオータムフェス

10月23日（日）に開催される、「第14回紀州湯浅のギョギョっとお魚まつり」にあわせて、重伝建10周年実行委員会では『ゆあさオータムフェス』を実施します。昨年、「まちなみ音楽会」として行ったものを引き継ぐもので、今年も様々なイベントを企画しています。詳細は、重伝建10周年実行委員会が作成するポスターやチラシ等をご覧ください。

【今年の「まちなみ音楽会」の様子】



町民歴史講座『聖護院門跡と深専寺』 山伏行列・護摩法要

9月6日（火）

11:00～12:00

町民歴史講座『聖護院門跡と深専寺』

講師：聖護院門跡 宮城泰年門主

場所：深専寺本堂（定員100名）

※整理券は深専寺・駅前多目的広場・役場で配布

12:00～13:30

山伏行列（駅前多目的広場→島之内→深専寺）

山伏問答・護摩法要（深専寺境内）



もう一度、身の回りや家庭内で、
火災への備えを点検しましょう！



湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

楠山 吉雄

半邊 宗五

妻木 良三

道津 節子

まちなみ瓦版

■平成28年 9月 1日

■第29号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

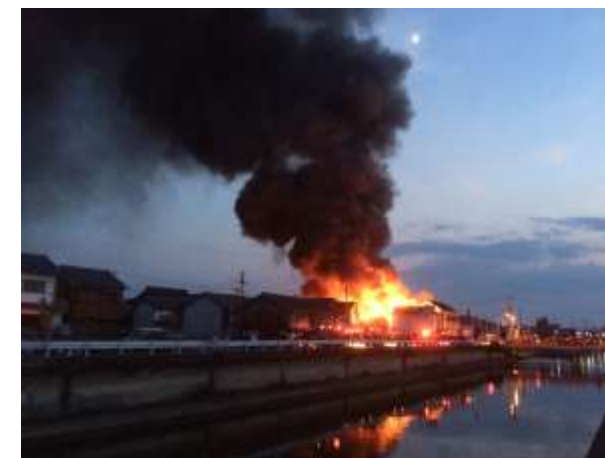
■発行責任者：木下 智之

伝建地区で火災発生

8月8日（月）、北町で発生した火災には、皆さん驚いたと同時に、恐怖を感じたことと思います。午後6時55分の火災発生の通報から、消防発表の鎮火まで3時間余り、その後も一晩中残火処理が続きました。大きな火災であったにも関わらず、幸いにして、けが等の人的被害は発生しませんでした。火元を含めた5軒（9棟）に被害が出ました。

被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

今回、改めて密集市街地における火災の恐ろしさを実感することになりました。私たちはこの経験を必ずプラスのものにしないといけません。



火災発生時の様子

対応状況や今後の課題について話し合い



話し合いの様子（8月22日）

8月22日（月）、北の町老人憩の家で、自主防災組織（4地区、伝建地区連絡協議会）と保存協議会役員会は、役場（総務課・産業観光課）とともに会議を開き、今回の火災に対する経過を振り返りながら、浮かび上がってきた課題や、問題点を出し合い、今回の出来事を今後活かす方法について話し合いました。

火災を防ぐには、日頃からの火災を起こさない努力、万が一発生してしまったときの通報や初期消火の体制等々、そこに住む人々の意識や協力が大切です。

今後、さらに今回の火災から学べる教訓をみんなで一緒に考え、共有できるようにしていきたいと思ひます。



今回使用された防火水槽



北町区の消火器と手動警報ベル

夏のイベント大盛況

いつもより早い7月16日（土）に行われた、湯浅まつり・花火大会にあわせて、重伝建10周年実行委員会が主催となって行った様々なイベントは大盛況でした。



北町通り 行灯ライトアップ



花火大会の開催にあわせて、19時～21時30分までの間、北町通りでは、行灯ライトアップが行われました。新北栄橋北詰の駐車場から花火大会に向かう人々は、行灯のほのかな灯りに包まれた伝統的な町並みを堪能していました。打ち上がる花火と行灯の光の競演は見事で、北町通りは多くの人で賑わいました。



わかやま楽落会 湯浅寄席

16日（土）には、地域福祉センターにおいて、ボランティア団体・わかやま楽落会によるマジックや落語などの「湯浅寄席」が開かれました。午前と午後の2部を行い、社協のデイサービス利用者をはじめ訪れた方々は、楽しいひとときを過ごしました。



行灯アート展フォトコンテスト 写真展

7月16日（土）から8月16日（火）まで、北の町老人憩いの家1Fと岡正の2会場で、「行灯アート展フォトコンテスト写真展」が開催されました。これは、これまでの行灯アート展で応募のあった作品のうち、惜しくも入選できなかった作品を展示するもので、期間中2度の展示替えを行いながら、過去3年分の作品を展示しました。どの作品も力作ぞろいで、これまでの入選作品に勝るとも劣らないような作品もあり、見ごたえ十分でした。



施設運営部会を開催しました

【甚風呂旧借家棟の整備・活用について】

日時：平成28年7月26日（火）
午後7時30分～午後8時30分

場所：北の町老人憩いの家1F

出席者：会長、副会長1名、施設運営部会委員5名、
北中町区長、事務局3名



◆甚風呂旧借家棟（旧場野家）の整備・活用について

甚風呂の北隣にある旧借家棟（旧場野家）は、甚風呂と一括して町が取得しましたが、整備されておらず建物の傷みが激しい状態です。そこで、今年度国の事業を利用して、来年度の工事に向けた設計業務を進めていきます、と事務局より説明がありました。

甚風呂を指定管理で運営している保存協議会、地元の北中町区と、設計業務の委託を受けている和歌山県建築士会、行政が連携しながら、整備後の活用を見据えた設計を進めていくことになります。



甚風呂旧借家棟（旧場野家）

《意見等》

Q. 甚風呂と繋げてしまうことは可能？

A. 元々別の建物を完全に繋ぐことはできません。庭で繋ぐことは可能です。

Q. 今、内部に保管してある物はどうすれば？

A. 来年度工事が始まるまでに整理する必要があります。

Q. どれくらいの改装ができる？

A. 外観は伝統的な意匠を維持する必要があります。内部は活用目的にあった内装や設備の改修が可能です。

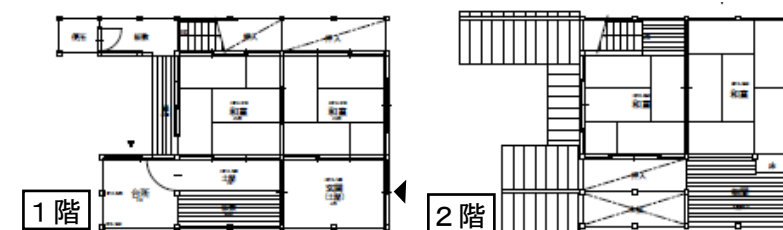


1階 現況内部



2階 現況内部

■甚風呂旧借家棟 現況平面図



◆宿泊体験等施設整備工事について

同じ国の事業を利用して、北町の加納家（旧借家東西棟）では宿泊体験等施設の整備を、観光協会の希望者の中から今後選ばれる事業者とともに進めていく方針が事務局より説明されました。